

新山梨環状道路 東部区間



新山梨環状道路の位置付け

路線の位置付け

新山梨環状道路は、山梨県内において、東西の基軸となる中央自動車道と、南北の基軸となる中部横断自動車道を補完する地域高規格道路として位置づけられています。



山梨県内の高規格道路

中央自動車道	東京都杉並区～富士吉田市、大月市～愛知県小牧市～兵庫県西宮市	1982(S57).11 県内全線供用	高規格幹線道路
中部横断自動車道	静岡県静岡市～長野県小諸市	2017(H29).3 双葉JCTから六郷ICまで供用 六郷IC以南事業中	
新山梨環状道路	甲府市、富沢市、中央市、南アルプス市、甲斐市	北部、東部、南部、西部の4区間で構成 北部区間一部事業中 東部区間事業中 2009(H21).3 南部区間全線供用 2004(H16).3 西部区間供用(中部横断自動車道)	地域高規格道路
西関東連絡道路	埼玉県深谷市～甲府市	2018(H30).3 甲府山梨道路の山梨市東から甲府市桜井まで供用 1998(H10).4 厩坂トンネル供用	その他の自動車専用道路
東富士五湖道路	静岡県駿東郡小山町～富士吉田市	1989(H1).3 富士吉田ICから須走ICまで供用 ※1991(H3).7 須走ICから先1.1km供用(須走道路)	

新山梨環状道路東部区間

道路の規格等

路線名	新山梨環状道路東部区間 (都市計画道路 甲府外郭環状道路東区間)
起終点	自)甲府市西下条町 至)笛吹市石和町広瀬
延長	7.1Km
幅員	18.25m
道路の区分	第3種第1級
設計速度	80km/h
車線数	4車線
ランプ部	B規格ランプ

連絡施設名称(仮称)	接続道路
西下条ランプ	国道358号
落合西ランプ	県道甲府精進湖線
落合東ランプ	市道小瀬落合線
東油川ランプ	国道140号
小石和ランプ	県道甲府笛吹線
広瀬ランプ	国道20号

新山梨環状道路東部区間

新山梨環状道路は、甲府都市圏における交通の円滑化と、甲府市と周辺市町間の連絡強化などを目的とした全長約43kmの環状道路で、北部区間、東部区間、既に開通している西部区間(中部横断自動車道)、南部区間によって構成されています。

山梨県では、甲府市西下条町から国道20号笛吹市石和町広瀬までの新山梨環状道路東部区間(L=7.1km)について事業を進めています。

周辺路線の状況

新山梨環状道路東部区間が接続する国道20号や国道140号などの幹線道路は、交通が集中し、混雑しています。



国道20号 甲府市上阿原町付近



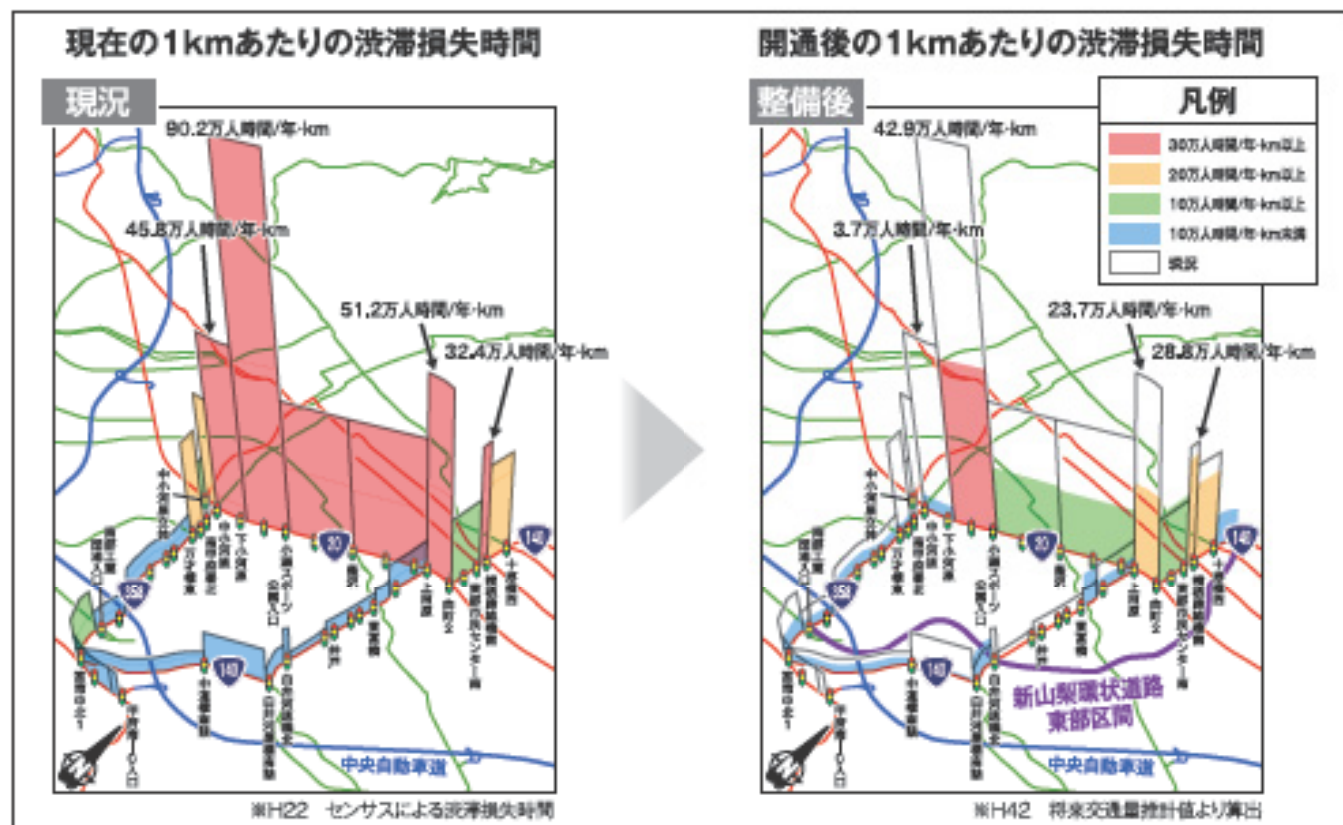
国道140号 甲府市白井町付近

整備効果 1

渋滞の解消

新山梨環状道路東部区間の整備により、周辺の幹線道路に集中している交通が分散し、混雑の緩和が見込まれます。

なお、国道20号の現在最も混雑が激しい区間は、混雑が5割以上緩和されると推定されます。



所要時間の短縮

新山梨環状道路東部区間の整備により、災害時の防災拠点である小瀬スポーツ公園や地域間の所要時間が短縮され、ネットワーク強化に貢献します。



出典：平成27年度一般交通量調査より算出(新山梨環状道路東部区間は、70km/hとして算出)

整備効果2

県内観光地へのアクセス向上

2027年リニア中央新幹線（東京—名古屋間）開業により、甲府—東京間が約25分、甲府—名古屋間が約40分で結ばれ、新山梨環状道路の整備と併せ、首都圏や中京圏から県内観光地へのアクセスが向上します。



出典：国土交通省資料による

余った時間で
あっちの観光地も
見てこよう!



出典：第三次社会資本整備重点計画(129.7)

救急医療施設への30分到達圏域の拡大

新山梨環状道路の整備により、高次医療機関（山梨県立中央病院・山梨大学医学部附属病院）への到達時間が短縮され、甲府都市圏及び周辺地域における救急医療サービスが向上します。



出典：平成27年度一般交通量調査より算出
(新山梨環状道路東部区間は、70km/hとして算出)



出典：第三次社会資本整備重点計画(129.7)

事業の流れ



※設計図を基に具体的な用地幅について説明を行います。

新山梨環状道路全体計画



山梨県 県土整備部道路整備課

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1
TEL.055-223-1686 / FAX.055-223-1693

山梨県 新環状道路建設事務所

〒406-0031 山梨県笛吹市石和町市部524
TEL.055-261-1490 / FAX.055-261-1495



山梨県新山梨環状道路建設事務所